

Ⅱ 暮らしの向上

9 景観・環境の保全と創造 2 きれいでくらしやすい生活環境の創造

主担当部局(長)名
景観・環境局長 榎田 斉志

目指す姿

奈良ならではの”美しい自然・景観”や”快適な生活環境”を守り・創り・育む「きれいに暮らす奈良県スタイル」を構築・定着させ、「住んでよし」「訪れてよし」の地域づくりを目指します。

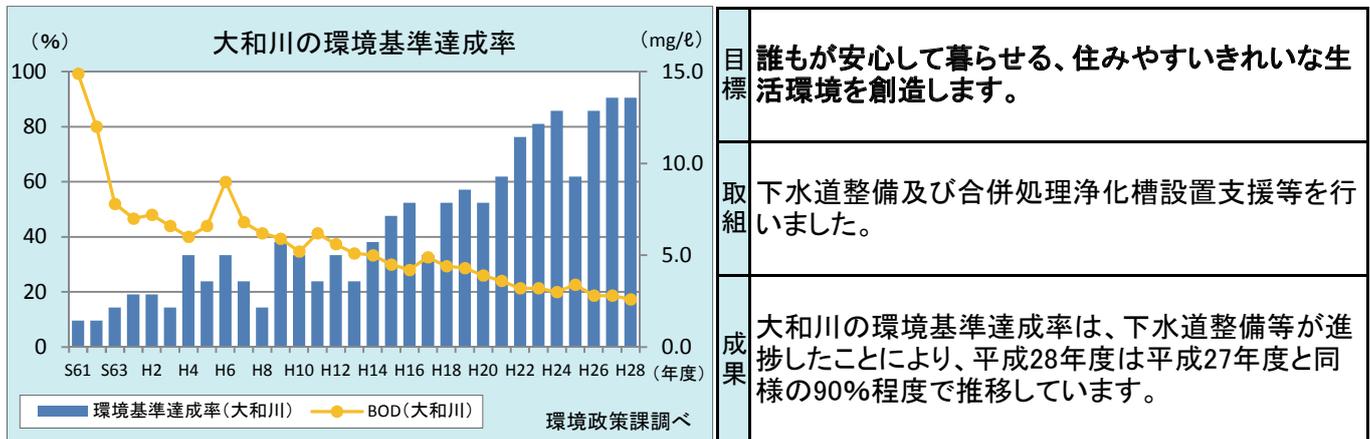


かっぱ教室(飛鳥川)

これまでの成果

- ・奈良県内の河川水質は改善傾向にあります。(全58地点BOD平均 H18年度:2.2mg/ℓ→H28年度:1.6mg/ℓ)
- ・節電効果や再生可能エネルギーの普及により、平成27年度の電灯使用電力量は、平成22年度比で約15%削減しました。

1. 政策目標達成に向けた進捗状況



2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	<p>①生活排水対策を推進し、大和川の水質環境基準(BOD値)を達成します。(H26年度水質環境基準達成率:85.7%)</p> <p>②平成29年度までに、廃棄物の排出量削減とリサイクルを推進し、家庭ごみ排出量を602g/人・日にします。(H25年度:634g/人・日)その結果、平成29年度までに、最終処分率を10.3%にします。(H25年度:12.8%)</p> <p>③平成32年度までに、温室効果ガス排出量を平成17年度比で12.3%削減します。(H24年度:H17年度比4.4%増)</p>
------	---

